

日本学術会議史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会
(第25期・第5回)
議事要旨

開催日時：2022年3月30日（水）13：30～17：20

開催場所：オンライン開催

出席者：福永伸哉、芳賀満、菊地芳朗、松本直子、内山幸子、恵谷浩子、奥村弘、大久保徹也、佐藤宏、佐藤義明、辻田淳一郎、林部均、松田陽、宮路淳子、岡田健（参考人）

欠席者：臼杵勲、瀬谷愛

書記担当：菊地芳朗、松本直子

議事概要：

（1）前回議事要旨の確認
異議無く承認された。

（2）諸問題の報告と検討

①岡田 健参考人「文化財防災が映し出す社会の多様な課題」

岡田参考人（奈良大学教授）より、「文化財レスキュー」の経緯、体制、現状、課題等にわたって事例を踏まえた報告があり、これを受けて、種々の意見交換、審議を行った。

②内山幸子委員「大学での文化財教育と法令等の整理の必要性について－自然系資料を中心として－」

内山委員より、文化財における自然系資料の位置づけ、学芸員課程における自然系資料の取り扱い、自然系学部・学科における文化財教育、関連法令等の整理の必要性などを中心に報告があり、これを受けて、種々の意見交換、審議を行った。

③大久保徹也委員「改正文化財保護法下の保存活用計画策定について」

大久保委員より、改正文化財保護法において法定化された「文化財保存活用大綱・地域計画」の策定に関わる現状や課題について、自身の経験も踏まえた報告があり、これを受けて、種々の意見交換、審議を行った。

（3）その他

委員長より、今期の分科会審議事項に関係するテーマで公開セッションの実施を検討したい旨提案があり、正副委員長と幹事、前期副委員長の5名からなる企画ワーキングを設置して検討することが承認された。

以上